

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,359,851千円	1,155,133千円	1,223,899千円	0千円
	総人件費	29,195千円	52,354千円	75,097千円	
	総事業コスト	1,389,046千円	1,207,487千円	1,298,996千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	道路整備課	維持係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	02	01	11	道路維持管理に要する経費

事務事業名	01 単独道路維持補修事業				指標名	修繕・改修工事件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	修繕・改修工事の件数													
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																	
戦略プラン	-				実績	405件	377件	447件	406件	-	-	-					その他の指標	-											
総合戦略	-				H29年度				H30年度				-																
					改善目標	交通特性・危険性緊急性により、必要性を判断し優先的に維持補修することを基本として実施する。測量設計業務・工事共早期発注をして年度内完了を目指す。				改善目標	危険性、緊急性及び必要性を判断し、優先順位を付けて維持補修を実施する。また、測量設計業務・工事共早期発注をして年度内完了を目指す。																		
市長公約	-				事業計画	市内全域の道路、管理水路の補修工事及び排水路の清掃を実施し、予防保全および損壊箇所等の早期発見に努め、週5回の道路パトロールを実施する。				事業計画	市内全域の道路の維持補修、管理水路の補修工事及び排水路の清掃を実施する。また、工事14件、委託11件を予定しており、修繕補修工事については、その都度実施する。				事業実施コスト														
個別計画	-														事業費(A)					H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初						
根拠法令等	-														活動実績					排水整備工事2件 道路改良・舗装工事21件 雨水排水ポンプ交換1件 修繕補修工事382件を行った。 週5回、年間で245回の道路パトロールを行った。					国庫支出金	0千円	25,191千円	140,500千円	0千円
					成果					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円															
										課題															地方債	395,200千円	426,400千円	365,300千円	0千円
																									事業の進捗状況				
事業分類	F 施設等維持管理事業				上半期活動実績					一般財源	663,959千円	343,633千円	604,950千円	0千円															
執行体制	職員のみ									上半期成果					人件費(B)	10,802千円	22,047千円	44,790千円											
事業の目的	・市が管理する道路、管理水路、長きょう物の維持管理を実施し、市民の快適で安定した生活を確保する。				課題										正職員	従事割合	1.35人	2.98人	6.00人										
事業の概要	・市が管理する道路、水路等の修繕・補修工事を迅速に処理する。また、地区要望に対応し、舗装修繕工事や排水改修工事を実施する。									事業の進捗状況					時間外勤務	343.75時間	343.75時間	851.00時間											
					評価										臨時職員等	無	無	無											
										H31年度当初積算根拠					事業コスト(A+B)	1,157,871千円	942,271千円	1,268,689千円											
				有効性					H31年度当初積算根拠																				
									達成					理由															
				改善目標の進捗状況										-															
									達成					-															
				中：適切な成果が得られている										-															
									中：適切な費用対効果が得られている					-															
				B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施										-															
									総合評価					-															
				H29環境関連性										-															
									H30環境関連性					-															
				ISO 14001										-															
									H29環境関連性					-															
				H30環境関連性										-															
									ISO 14001					-															
				H29環境関連性										-															
									H30環境関連性					-															
				ISO 14001										-															

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,359,851千円	1,155,133千円	1,223,899千円	0千円
	総人件費	29,195千円	52,354千円	75,097千円	
	総事業コスト	1,389,046千円	1,207,487千円	1,298,996千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	道路管理課	保全係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	02	01	11	道路維持管理に要する経費

事務事業名		02 通学路等除草事業		指標名	通学路除草面積				指標種別	活動結果指標		指標の概要	-				
戦略プラン		-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
		-		実績	230,000㎡	460,000㎡	460,000㎡	460,000㎡	460,000㎡	460,000㎡	460,000㎡						
総合戦略		-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-			
		-			-				-								
市長公約		-		事業計画	市内9地区の通学路について、年2回の除草作業を実施する。				市内9地区の通学路について、年2回の除草作業を実施する。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画		-			-				-				事業費(A)	103,349千円	122,029千円	0千円	0千円
根拠法令等		-		活動実績	市内9地区の通学路除草作業を発注し、2回の除草作業を実施した				-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類		F 施設等維持管理事業			-				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制		全て委託		成果	通学路除草によって児童の安全を確保した。				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的		・除草作業を行い、通学児童の安全を図るため。			-				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要		・市内学校区を9地区に分割し、指定された通学路内で除草作業が必要な箇所について、夏休み期間中に除草作業を実施する。		課題	-				-				一般財源	103,349千円	122,029千円	0千円	0千円
					-				-				人件費(B)	10,802千円	16,291千円	16,291千円	
ISO 14001		H29 環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	正職員	従事割合	1.35人	2.17人	2.17人	
		H30 環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		時間外勤務	343.75時間	343.75時間	343.75時間		
					効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		臨時職員等	有	無	無		
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		事業コスト(A+B)	114,151千円	138,320千円	16,291千円		
												H31年度当初積算根拠	-				
												H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,359,851千円	1,155,133千円	1,223,899千円	0千円
	総人件費	29,195千円	52,354千円	75,097千円	
	総事業コスト	1,389,046千円	1,207,487千円	1,298,996千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	道路管理課	道路維持係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	02	01	11	道路維持管理に要する経費

事務事業名	03	橋梁長寿命化修繕計画書策定事業	指標名	計画書に基づく橋梁点検件数					指標種別	-	指標の概要	-		
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
	-	-	-	-	-	150橋	117橋	155橋	120橋	150			150	
実績	-	-	-	-	-	181橋	137橋	155橋	-					
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度				その他の指標	-
	-	-	-	-	改善目標	-	改善目標	-	改善目標	-	改善目標	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
市長公約	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
個別計画	-	つくば市橋梁長寿命化修繕計画	事業計画	・橋梁点検委託 155橋実施					事業計画	橋梁点検委託120橋実施				
根拠法令等	-	道路法	活動実績	橋梁点検委託155橋					上半期活動実績	-				
事業分類	F	施設等維持管理事業	成果	策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、穴塚橋外2橋の橋梁補修設計、入原橋外1橋の橋梁補修工事を実施し、道路ネットワークの機能確保・災害リスク低減に前進した。					上半期成果	-				
執行体制	-	全て委託	課題	-					課題	-				
事業の目的	・つくば市が管理する橋長15メートル以上の84橋及び歩道橋に係る橋である34橋を対象に、道路ネットワークの機能確保を目的とし、災害リスクから市民の安全・安心を確保するため。													
事業の概要	・「道路に関する基礎データ収集要領(案)国土交通省国土技術政策総合研究所」に基づいた点検を実施し、橋梁長寿命化修繕計画書を策定する。計画書に基づき修繕を実施する。													
ISO 14001	H29 環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠			-
	H30 環境関連性	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			H31年度の方向性	-	理由
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,687,888千円	1,550,754千円	1,650,432千円	0千円
	総人件費	16,772千円	15,981千円	16,796千円	
	総事業コスト	1,704,660千円	1,566,735千円	1,667,228千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	道路整備課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	02	02	11	道路新設改良に要する経費

事務事業名	01 道路新設改良事業				指標名	市道の改良率				指標種別	成果指標	指標の概要	市道の総延長に対し、道路の規格を改良した割合	
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
				実績	54.69%	55.53%	55.90%	57.10%	-	-	-	その他の指標	道路改良率 茨城県 42.2% 全国 61.9%	
				改善目標	H29年度				H30年度					
				改善目標	交通特性・危険性・緊急性により、必要性を判断し優先的に整備することを基本として実施する。測量設計業務・工事共早期発注をして年度内完了を目指す。				改善目標 組織再編に伴い、道路整備の指標とする判断基準は、道路計画課で検討している。指標を基に、測量設計業務・工事共早期発注をして年度内完了を目指す。					
市長公約	-				事業計画	・道路改良工事 42路線 L=7,863m ・測量設計業務 21路線 L=3,775m				事業計画 ・道路改良工事 33路線 L=5,171m ・測量設計業務 28路線 L=7,120m				
個別計画	-					活動実績	繰越事業 ・道路改良工事完了 18路線 L=3,205m ・測量設計業務委託完了 6路線 L=2,100m 現年度事業 ・道路改良工事 11路線 L=2,408m ・測量設計業務委託完了 18路線 L=4,750m				上半期活動実績			
根拠法令等	道路法				成果		計画的に道路の改良整備を実施することにより、安全で円滑な交通を確保することができた。				上半期成果			
事業分類	G 建設等事業					課題	地区要望路線の事業計画については、1.測量設計、2.用地買収、3.工事、の3年サイクルで整備を進めているが、幅員・線形等で地元調整に期間を要することがあるため、今後の整備においては、要望内容を採用するにあたり、客観的な判断基準(必要性、緊急性、整備効果)を作成することが必要である。				課題			
執行体制	職員のみ				事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠
事業の目的	・未改良の生活道路を改良し、道路としての機能を高め、道路網の整備を図ることにより市域の土地利用、経済活動を活性化し、地域社会の環境を改善するため。					有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-				
事業の概要	地元要望を踏まえ、一定の基準の下に必要性を評価し、生活道路の整備を行う。				効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-					
ISO 14001	H29 環境関連性	-		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		H31年度の方向性	-	理由	-	
	H30 環境関連性	-												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,009,632千円	336,082千円	176,934千円	0千円
	総人件費	17,037千円	16,485千円	18,961千円	
	総事業コスト	1,026,669千円	352,567千円	195,895千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	道路整備課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	02	03	11	緊急地方道整備に要する経費

事務事業名	01 緊急地方道整備事業				指標名	市道の改良率				指標種別	成果指標	指標の概要	市道の総延長に対し、道路の規格を改良した割合	
	戦略プラン	II	6	1	交通移動体系の整備	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
		-	-	-	-	実績	54.69%	55.53%	55.90%	57.10%	-			
総合戦略	-				H29年度				H30年度				その他の指標	道路改良率 茨城県 42.2% 全国 61.9%
					改善目標	市民生活と経済活動を支える都市基盤を充実させるため、継続事業を着実に進めるとともに、都市構造の変化や社会状況の変化に適応し、将来を見据えた都市計画道路網の整備を行う。				改善目標	用地取得に当たり、道路計画課とともに、道路整備の必要性を丁寧に説明しながら用地交渉を進める。			
市長公約	-				事業計画	-				事業計画	-			
個別計画	-					<ul style="list-style-type: none"> 6-3106号線道路改良舗装工事 L=80m 酒丸上沢線道路改良舗装工事 L=200m 台町萱丸線道路改良舗装工事 L=200m 市道1-71号線道路改良舗装工事 L=200m 台町萱丸線用地測量業務委託 L=1,300m 					<ul style="list-style-type: none"> 線越事業 台町萱丸線道路改良舗装工事 L=110m 市道1-71号線道路改良舗装工事 L=110m 台町萱丸線用地測量業務委託 L=1,300m 現年度事業 市道1-71号線道路改良舗装工事 L=200m 酒丸上沢線修正設計業務委託 L=500m 台町萱丸線土地評価算定業務委託 台町萱丸線家屋移転補償費算定業務委託 			
根拠法令等	道路法、都市計画法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 線越事業 6-3106号線道路改良工事 L=64m 酒丸上沢線道路改良舗装工事 L=225m 葛城北線道路改良舗装工事 L=200m 台町萱丸線道路改良舗装工事 L=94m 市道1-71号線道路改良舗装工事 L=344m 台町萱丸線道路詳細設計業務委託 L=1,440m 				上半期活動実績	-			
事業分類	G 建設等事業					成果	<ul style="list-style-type: none"> まちの骨格形成、安全で円滑な交通の確保や防災機能の向上とともに、重点的、効果的かつ効率的な事業の実施に向け、道路詳細設計業務、用地測量、補償費算定、難航地権者の用地交渉、工事発注など将来を見据えた整備を実施した。 				上半期成果	-		
執行体制	職員のみ				課題		<ul style="list-style-type: none"> 用地交渉が難航している路線については、用地取得に不測の日数を要し、工事発注が遅れることがある。 					課題	-	
事業の目的	国、県の補助事業を導入し市内幹線道路の整備を行い、道路網の確立を図る					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-
	事業の概要	一定の地域において、地域の課題に対応して一体となって行われる事業に対して交付される補助金を活用し、地方の創意、工夫を活かした個性的な地域づくりを推進する					有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-		H31年度の方向性	-
ISO 14001		H29 環境関連性	-		効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-					
	H30 環境関連性	-		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	0千円	20,000千円	0千円	0千円
	総人件費	0千円	7,107千円	0千円	
	総事業コスト	0千円	27,107千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	道路整備課	事業調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	02	03	11	緊急地方道整備に要する経費

事務事業名	02 上河原崎・中西地区スマートIC設置事業((仮称)つくばスマートIC)				指標名	事業進捗率				指標種別	成果指標		指標の概要	事業費ベースでの事業進捗率となるため、実績値のみとなる。							
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
戦略プラン	II 6 1 交通移動体系の整備				実績	-	-	-	0.80%	-	-	-									
					改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標							
市長公約	-				事業計画	沿線開発整備室にて以下の事業を実施。 ・4月 国交省要望活動 ・6月頃 地区協議会開催 ・6月頃 新規事業化 ・7月頃 連結許可申請				H30年度から「圏央道推進に要する経費」へ移行				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	-					連結許可後、沿線開発整備室から引継を受け、測量、設計、用地買収、工事等を順次行っていく。				上半期活動実績				事業費(A)	0千円	20,000千円	0千円	0千円			
根拠法令等	道路法、都市計画法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律				活動実績	沿線開発整備室にて以下の事業を実施。 ・4月17日 国交大臣要望 ・6月30日 地区協議会開催 ・7月4日 国交大臣要望 ・7月6日 実施計画書提出 ・7月21日 新規事業化 ・7月21日 連結許可申請書提出 ・8月4日 連結許可				上半期成果				国庫支出金	0千円	11,000千円	0千円	0千円			
事業分類	G 建設等事業					連結許可後、沿線開発整備室から道路建設課へ事業の引継を行った。 以下、道路建設課にて実施。 ・8月31日 NEXCO東日本との基本協定の締結 ・9月19日 NEXCO東日本との工事細目協定の締結 ・12月21日 NEXCO東日本との年度契約の締結 ・2月16日 年度契約(第1回変更)の締結 ・1月24日 事業説明会(榎内区会) ・1月25日 事業説明会(中西区会)				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	職員のみ				課題	(仮称)つくばスマートICの平成33年度末の供用開始を目指す、各年度において年度協定を結び事業を進める必要がある。				H31年度当初積算根拠				地方債	0千円	8,100千円	0千円	0千円			
事業の目的	圏央道の常総ICとつくば中央ICのつくば市内に(仮称)つくばスマートICを設置することにより、つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市西部地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図るため、早期実現を目指す。													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	(仮称)つくばスマートICについては、圏央道の常総ICとつくば中央ICのつくば市内に設置の計画を行ってきたが、平成29年7月21日に国から新規事業化箇所を選定された。 連結許可後については、本事業を都市計画部から建設部に移行し、建設部道路建設課において、測量、設計及び工事を順次行い、平成34年3月の供用開始を目指していく。												一般財源	0千円	900千円	0千円	0千円				
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	人件費(B)	0千円	7,107千円	0千円					
	H30 環境関連性	-			評価	有効性	【終了】中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		正職員	従事割合	0.00人	1.00人	0.00人				
													臨時職員等	-	無	-	事業コスト(A+B)	0千円	27,107千円	0千円	
													H31年度の方向性		-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
建設部	道路整備課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	03	01	12	河川整備に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	52,554千円	135,000千円	157,140千円	0千円
	総人件費	12,579千円	8,117千円	7,466千円	
	総事業コスト	65,133千円	143,117千円	164,606千円	

事務事業名	01 河川整備事業				指標名	河川の改修整備率				指標種別	成果指標	指標の概要	八幡川河川の未改修区間の整備率						
	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度											
戦略プラン	-	-	-	-	-	10%	20%	30%	40%	50%	60%								
	-	-	-	-	-	10%	10%	10%	-										
実績	-	-	-	-	-	10%	10%	10%	-										
総合戦略					H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	改善目標	未改修区間の中で、危険性・緊急性を要する箇所から整備することを基本として実施する。				改善目標	未改修区間の中で、危険性・緊急性を要する箇所から整備することを基本として実施する。												
市長公約	-				事業計画	・八幡川河川改修工事 L=200m ・河川改修に伴う土地購入（北条・山口・平沢地区）				事業計画	繰越事業 ・護岸倒壊による災害復旧工事（山口地区）L=36.9m ・八幡川用地測量業務委託 L=750m ・八幡川護岸復旧測量設計業務委託（小田地区）L=40m 現年度事業 ・八幡川河川改修工事 L=200m ・八幡川修正設計業務委託 ・八幡川土地評価算定業務委託 ・八幡川家屋移転補償費算定業務委託 ・河川改修に伴う土地購入（北条・山口・平沢地区）				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-					活動実績	繰越事業 ・護岸倒壊による河川改修工事（北条地区）L=70m				上半期活動実績	-				事業費(A)	52,554千円	135,000千円	157,140千円
根拠法令等	河川法				成果		緊急性を要する箇所を整備することにより危険を回避することができた。					上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円
事業分類	G 建設等事業					課題	台風に伴う増水により破損箇所が生じるため、未改修区間の整備を進める必要がある。				課題		-				県支出金	0千円	0千円
執行体制	職員のみ				事業の概要		集中豪雨、台風等に際し、八幡川の洪水や安全性を向上させるため、護岸等の整備を進める。					事業の概要	-				地方債	39,400千円	93,000千円
事業の目的	台風・大雨等による河川の氾濫、土砂崩れを最小限に食い止めるため、適切な防災対策を行い、住民被害の軽減を図る。					事業の進捗状況	達成				事業の進捗状況		-				その他特財	0千円	0千円
事業の概要	集中豪雨、台風等に際し、八幡川の洪水や安全性を向上させるため、護岸等の整備を進める。				改善目標の進捗状況		達成					改善目標の進捗状況	-				一般財源	13,154千円	42,000千円
ISO 14001	H29 環境関連性	-				評価	有効性 中：適切な成果が得られている				評価		有効性 -				人件費(B)	12,579千円	8,117千円
	H30 環境関連性	-			評価		効率性 中：適切な費用対効果が得られている					評価	効率性 -					正職員	従事割合 1.50人
		-				評価	総合評価 B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価		総合評価 -				時間外勤務	600.00時間	400.00時間
		-			評価							評価					臨時職員等	無	無
		-				評価					評価						事業コスト(A+B)	65,133千円	143,117千円
		-			評価							評価					H31年度当初積算根拠	-	
		-				評価					評価						H31年度の方向性	-	理由

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
建設部	道路整備課	街路係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	02	11	街路整備に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	8,110千円	156,425千円	250,819千円	0千円
	総人件費	11,784千円	11,418千円	17,051千円	
	総事業コスト	19,894千円	167,843千円	267,870千円	

事務事業名	01 明るいまちづくり協議会事業				指標名	明るいまちづくり協議会開催				指標種別	活動結果指標				指標の概要	明るいまちづくり協議会の開催回数						
	II	5	2		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績	H26年度			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
戦略プラン	II 5 2 犯罪に強いまちづくりの推進				目標値	-	4回	4回	4回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	- - - -				実績	-	3回	3回	1回	-												
総合戦略	IV 2 2 犯罪に強いまちづくりの推進				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-							
	- - - -					改善目標	有効幅員確保及び照度確保のほか、既存の街路樹の取扱い等を含めた街路灯の設置方針を作成し、街路灯整備を進める。				改善目標					-						
市長公約	-				事業計画	協議会開催 ・第7回協議会 6月開催予定 ・第8回協議会 9月開催予定 ・第9回協議会 12月開催予定 ・第10回協議会 3月開催予定				H30年度から「明るいまちづくり協議会事業」と「街路整備事業」へ分割。「明るいまちづくり協議会事業」は防犯交通安全課へ移行。				事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	-					街路整備工事 5件(うち2件は28年度繰越し) 29年度事業3件については、社会資本整備総合交付金事業として、まちづくり交付金を活用し整備				-				事業費(A)		8,110千円	156,425千円	0千円	0千円			
根拠法令等	道路法				活動実績	有効幅員確保及び照度確保のほか、既存の街路樹の取扱い等を含めた街路灯の設置方針について作成し、設置方針に基づき、街路整備工事を発注した。 街路整備工事 H28年度繰越事業2件(完成2件) H29年度事業4件(H30へ繰越4件)				-				内訳		国庫支出金	0千円	21,300千円	0千円	0千円		
事業分類	A 任意的事业					協議会開催 第7回協議会 平成30年3月19日開催				-				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	職員のみ				成果	街路灯を整備したことにより、歩行者等の安全を確保することができた。特に街路整備路線は、通学路でもあり、児童生徒の登下校の安全確保を図ることができた。				-				地方債		4,400千円	103,100千円	0千円	0千円			
事業の目的	研究学園中心地区の街路灯未整備地区の街路灯の整備を図ることにより、歩行者等の安全を確保する。					課題	決定した市の街路灯の設置方針について協議会に諮り、住民の安全を確保すべく継続した整備を進める。国・県道への街路灯設置に向けての協議、施策の検討。				-				その他特財		0千円	1,000千円	0千円	0千円		
	事業の概要	・街路灯設置基本計画策定 夜間通行困難箇所の街路灯設置基本計画を策定する。 ・街路灯設置の仕組み作り 会員の役割を明確にし、分担を定め、事業を実施する。 ・街路灯の設置、管理 街路灯設置基本計画に基づき、街路灯を設置管理を行う。					事業の進捗状況	達成				-				一般財源		3,710千円	31,025千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H29 環境関連性				評価		有効性 【終了】中：適切な成果が得られている				-				人件費(B)		11,784千円	11,418千円	0千円		
	H30 環境関連性				効率性 【終了】中：適切な費用対効果が得られている				-				正職員		従事割合 1.50人	1.50人	0.00人					
				総合評価				—：事業の終了				-				時間外勤務		300.00時間	300.00時間	0.00時間		
												-				臨時職員等		有	無	-		
												-				事業コスト(A+B)		19,894千円	167,843千円	0千円		
												-				H31年度当初積算根拠		-				
												-				H31年度の方向性		-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	8,110千円	156,425千円	250,819千円	0千円
	総人件費	11,784千円	11,418千円	17,051千円	
	総事業コスト	19,894千円	167,843千円	267,870千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	道路整備課	街路係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	02	11	街路整備に要する経費

事務事業名	01 街路整備事業				指標名	整備延長				指標種別	活動結果指標				指標の概要	街路整備工事の整備延長				
	戦略プラン	II	5	2	犯罪に強いまちづくりの推進	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-						
		-	-	-	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合戦略	IV	2	2	犯罪に強いまちづくりの推進	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-	-	-	-		-	-				国補事業等を有効に活用するとともに、街路灯設置方針に基づき、景観にも配慮した街路灯の設置を行う。									
市長公約	-				事業計画	-				-				内訳	事業実施コスト					
個別計画	-					-				-					事業費(A)					
根拠法令等	道路法				活動実績	-				-				国庫支出金						
	-					-				-				0千円						
事業分類	A 任意的事业				成果	-				-				県支出金						
執行体制	職員のみ					-				-				0千円						
事業の目的	研究学園中心地区の街路灯未整備地区の街路灯の整備を図ることにより、歩行者等の安全を確保する。				課題	-				-				地方債						
	-					-				-				0千円						
事業の概要	街路灯の設置 街路灯設置基本計画に基づき、街路灯の設置を行う。				評価	-				-				その他特財						
	-					-				-				0千円						
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	-				-				一般財源						
	H30 環境関連性	-				-				-				0千円						
					事業の進捗状況	-				-				人件費(B)						
						-				-				0千円						
					改善目標の進捗状況	-				-				正職員						
						-				-				従事割合						
					改善目標の進捗状況	-				-				時間外勤務						
						-				-				0.00時間						
					改善目標の進捗状況	-				-				臨時職員等						
						-				-				-						
					改善目標の進捗状況	-				-				事業コスト(A+B)						
						-				-				0千円						
					改善目標の進捗状況	-				-				H31年度当初積算根拠						
						-				-				-						
					改善目標の進捗状況	-				-				H31年度の方向性						
						-				-				理由						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
建設部	道路整備課	街路係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	03	11	街路維持管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	597,885千円	925,590千円	1,130,773千円	0千円
	総人件費	19,660千円	16,890千円	25,496千円	
	総事業コスト	617,545千円	942,480千円	1,156,269千円	

事務事業名		01	街路修繕工事事業			指標名	街路修繕・改修工事件数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	修繕・改修工事の件数						
戦略プラン		-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		-	-	-	-			
総合戦略		-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
市長公約		-	-	-	-		改善目標	国補事業等を有効的にを活用し、路線的・一体的な修繕を試みる。				改善目標	国補事業等を有効的に活用し、路線的・一体的な修繕を計画的に実施する。				-				
個別計画		-	-	-	-	事業計画	研究学園中心部及びTX沿線地区の道路、管理水路の補修工事及び排水路の清掃を実施するとともに、損壊箇所等の早期発見のため、道路パトロールを実施する。				研究学園中心部及びTX沿線地区の道路の維持補修、管理水路の補修工事及び排水路の清掃を実施する。また、工事9件、委託6件を予定しており、修繕補修工事については、その都度実施する。				内訳	事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
根拠法令等		道路法、都市計画法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律					活動実績				上半期活動実績					事業費(A)		208,974千円	473,821千円	1,130,773千円	0千円
事業分類		F 施設等維持管理事業				成果	年間210回の道路パトロールを実施したことから、早期発見に繋がり、円滑な排水及び道路補修ができ、住民の安全な通行の確保ができた。				上半期成果				国庫支出金		0千円	127,101千円	233,007千円	0千円	
執行体制		職員のみ					課題	研究学園都市計画より約40年が経ち一体的な修繕の波が押し寄せている。計画的に再整備を進める必要がある。				課題				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的		市が管理する研究学園中心部及びTX沿線地区の道路、水路、長きょう物の維持補修を行い、市民生活の安定を図るため。				評価		有効性 中：適切な成果が得られている				有効性 -				地方債		7,800千円	241,800千円	285,100千円	0千円
事業の概要		市が管理する研究学園中心部及びTX沿線地区の道路、水路等の修繕・補修工事を迅速に処理する。また、地区要望に対応し、舗装修繕工事や排水修繕工事の実施。					事業の進捗状況				事業の進捗状況				その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H29環境関連性	-	-	-	達成				達成				一般財源		201,174千円	104,920千円	612,666千円	0千円		
		H30環境関連性	-	-	-	達成				達成				人件費(B)		9,830千円	8,445千円	17,051千円			
						達成				達成				正職員		従事割合	1.15人	1.00人	2.25人		
						達成				達成				時間外勤務		530.00時間	530.00時間	420.00時間			
						達成				達成				臨時職員等		無	無	無			
						達成				達成				事業コスト(A+B)		218,804千円	482,266千円	1,147,824千円			
						達成				達成				H31年度当初積算根拠		-					
						達成				達成				H31年度の方向性		-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	597,885千円	925,590千円	1,130,773千円	0千円
	総人件費	19,660千円	16,890千円	25,496千円	
	総事業コスト	617,545千円	942,480千円	1,156,269千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	道路管理課	保全係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	03	11	街路維持管理に要する経費

事務事業名	02	市内街路樹管理事業	指標名	剪定・伐採本数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	-							
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
	-		実績	4800本	4800本	4800本	4800本	4800本	4800本	4800本									
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
市長公約	-		改善目標	-				街路樹を含む一体的な設計の折には住民のニーズを踏まえつつ、維持管理費の削減に努める。											
個別計画	-		事業計画	植樹帯の除草作業及び街路樹の持つ景観を生かすため、剪定や枯植木等の伐採・除去作業を行う。				植栽帯及び街路樹の持つ景観を生かし保持するため、適切な除草・剪定・伐採などを行う。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
根拠法令等	-		活動実績	街路樹維持管理業務委託により管理街路樹の管理と越境している(通行の妨げになる)樹木の剪定、植樹部の除草作業を行い、快適な道路環境を成形した。街路樹の剪定については、3644本行った。				上半期活動実績											
事業分類	F 施設等維持管理事業		成果	剪定及び伐採の実施により、明るい街並みを保持し、市民の安全な通行環境を確保した。				上半期成果											
執行体制	全て委託		課題	街路樹も樹齢を重ねるにつれ、適切な管理に一層の気遣いが必要になりつつある。また、成長に伴う維持管理費の膨張が否めず、対策が必要と思われる。				課題											
事業の目的	・車道部や民地などに越境している範囲の剪定や植樹帯の除草作業を行う。また、枯植木等の伐採、除去を行うため。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	人件費(B)						9,830千円	8,445千円	8,445千円
事業の概要	・街路樹が都市景観を成しており、これらの街路樹剪定作業を、年次計画を立てて実施する。		評価	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-								正職員	従事割合	1.15人
ISO 14001	H29環境関連性	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			時間外勤務	530.00時間	530.00時間	530.00時間				
	H30環境関連性	-	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				臨時職員等	無	無	無			
											事業コスト(A+B)	398,741千円	460,214千円	8,445千円	H31年度当初積算根拠		-		
											H31年度当初積算根拠		-		理由		-		
											H31年度の方向性		-		理由		-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	47千円	47千円	133,447千円	0千円
	総人件費	7,485千円	7,259千円	14,931千円	
	総事業コスト	7,532千円	7,306千円	148,378千円	

部等名	課等名	係等名
建設部	道路整備課	事業調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	12	11	圏央道推進事業に要する経費

事務事業名	01 圏央道推進事業	指標名	要望活動回数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	国、県へ対する要望活動の回数							
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
	-	実績	1回	1回	-	-	-	-	-									
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-		交通量増加による渋滞緩和を目的とし、完成4車線化の早期事業化に取り組む。					改善目標										
市長公約	-	事業計画	事業計画				事業計画				事業実施コスト							
個別計画	-										・事業主体である国に対して、完成4車線化の早期事業化に向けて要望活動を実施する。				H30年度から「上河原崎・中西地区スマートIC設置事業（(仮称)つくばスマートIC）」へ統合			
根拠法令等	-	活動実績	つくば市が加盟している首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会の幹事会・総会へ出席し、平成29年11月16日、国に対して要望書の提出をするなど要望活動を行った。				上半期活動実績				内訳							
事業分類	G 建設等事業										国庫支出金				県支出金			
執行体制	職員のみ	成果	要望活動を行うことにより、本県区間を含む東北道から東関東道までの区間について、財政投融资を活用した整備により、平成34年から順次4車線で供用していくとの見込みが示された。				上半期成果				その他特財				一般財源			
事業の目的	・圏央道の早期整備を促進するため。										人件費(B)				正職員			
事業の概要	・事業主体である国土交通省に対して、県、関係市町、地元及び関係地権者等と連絡・調整を図りながら要望活動を実施する。	課題	茨城県内の全線開通により、交通量が増加していることから、完成4車線化の早期事業化が必要である。				課題				事業コスト(A+B)				H31年度当初積算根拠			
ISO 14001	H29環境関連性										事業の進捗状況				事業の進捗状況			
	H30環境関連性	事業の進捗状況				事業の進捗状況				事業コスト(A+B)				H31年度当初積算根拠				
		評価	有効性				有効性				H31年度の方向性				理由			
			効率性				効率性											
			総合評価				総合評価											

